

通海县 04-1307W000

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登錄案用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3092612号
(U3092612)

(45) 登行日 平成15年3月20日(2003.3.20)

(24) 登録日 平成14年12月25日(2002.12.25)

(51) Int.Cl.
H 04 N 5/93
5/85

識別記号

F 1

H04N 5/85
5/93

z
z

評価書の請求 有 請求項の数 5 OL (全 18 頁)

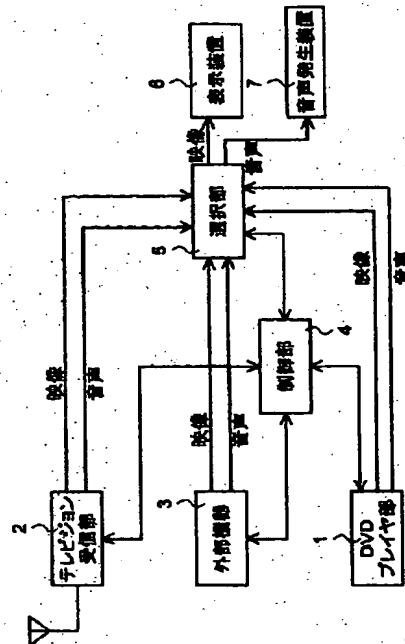
(21)出願番号	実願2002-5635(U2002-5635)	(73)実用新案権者	000201113 船井電機株式会社 大阪府大東市中垣内7丁目7番1号
(22)出願日	平成14年9月5日(2002.9.5)	(72)考案者	高橋 竜二 大阪府大東市中垣内7丁目7番1号船井電機株式会社内

(54) 【考案の名称】 DVDプレイヤー一体型テレビジョン受像機及び映像音声再生装置

(57) 【要約】

【課題】 DVDの再生時に本編の映像音声情報が読み出されるまでの間は、他の画像に切り換えて表示することができる映像音声再生装置を提供する。

【解決手段】 DVDプレイヤー1でDVDを再生する場合、当該DVDに記録された本編の映像音声情報が再生されるまでの所定期間は、当該DVDの再生情報は表示されず、テレビジョン受信部2からの画像、または外部機器3からの画像を表示装置6に表示させるように選択部5を制御する制御部4を備えた。このように、DVDの再生時に、本編の映像音声情報が読み出されるまでの所定期間は他の画像に切り換えて表示することができるので、ユーザにとってはその期間の時間を有効に活用でき、楽しむことができる。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 D V Dに記録された映像音声情報を再生して映像音声信号を出力するD V Dプレイヤ部と、テレビジョン放送を受信して映像音声信号を出力するテレビジョン受信部とを備えていると共に、映像音声信号を出力する外部機器が接続可能な構成を有するD V Dプレイヤ一体型テレビジョン受像機であって、

前記D V Dプレイヤ部からの映像音声信号と前記テレビジョン受信部からの映像音声信号と前記外部機器からの映像音声信号とのうちの何れかを選択する選択部と、前記選択された映像音声信号のうち映像信号を入力して画像を表示する表示装置と、前記選択された映像音声信号のうち音声信号を入力して音声を発生する音声発生装置とを備え、

更に、D V Dが再生開始されたとき当該D V Dから内容テーブル情報を検出する内容テーブル情報検出手段と、前記検出された内容テーブル情報により動作モードがD V D再生モードであることを認識するD V D再生モード認識手段と、前記D V D再生モードであることが認識され、かつ前記選択部により、テレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは前記外部機器からの映像音声信号のいずれかが選択されているとき、当該D V Dに記録された本編の映像音声情報が再生される前に表示されるメニュー画面までの期間は当該選択部による選択通りに当該D V Dの再生情報は表示せずに前記テレビジョン受信部からの映像信号による画像または前記外部機器からの映像信号による画像を前記表示装置に表示させる表示モード切換手段と、当該D V Dが再生されていき当該D V Dの再生情報が初めてメニュー画面情報になったことを検出するメニュー画面情報検出手段と、前記検出されたメニュー画面情報を受け取ったとき前記表示装置の表示画像をテレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは外部機器からの映像音声信号からD V Dの画像に切り換えるためのD V D画像選択信号を前記選択部に入力するD V D画像切換手段とを有した制御部を備えたことを特徴とするD V Dプレイヤ一体型テレビジョン受像機。

【請求項2】 D V Dに記録された映像音声情報を再生して映像音声信号を出力するD V Dプレイヤ部と、テレビジョン放送を受信して映像音声信号を出力するテレビジョン受信部とを備えていると共に、映像音声信号を出力する外部機器が接続可能な構成を有する映像音声再生装置であって、

前記D V Dプレイヤ部からの映像音声信号と前記テレビジョン受信部からの映像音声信号と前記外部機器からの映像音声信号とのうちの何れかを選択する選択部と、前記選択された映像音声信号のうち映像信号を入力して画像を表示する表示装置と、前記選択された映像音声信号のうち音声信号を入力して音声を発生する音声発生装置とを備え、

更に、D V Dを再生する場合、当該D V Dに記録された

50

2

本編の映像音声情報が再生されるまでの所定期間は当該D V Dの再生情報は表示せずに前記テレビジョン受信部からの映像信号による画像または前記外部機器からの映像信号による画像を前記表示装置に表示させるように前記選択部を制御する制御部を備えたことを特徴とする映像音声再生装置。

【請求項3】 前記制御部は、D V Dを再生する場合、当該D V Dに記録された本編の映像音声情報が再生されるまでの所定期間は当該D V Dの再生情報は表示せずに前記テレビジョン受信部からの映像信号による画像または前記外部機器からの映像信号による画像を前記表示装置に表示させる表示モード切換手段と、当該D V Dが再生されていき当該D V Dの再生情報が初めてメニュー画面情報になったことを検出するメニュー画面情報検出手段と、前記検出されたメニュー画面情報を受け取ったとき前記表示装置の表示画像をテレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは外部機器からの映像音声信号からD V Dの画像に切り換えるためのD V D画像選択信号を前記選択部に入力するD V D画像切換手段とを有することを特徴とする請求項2に記載の映像音声再生装置。

【請求項4】 前記制御部は、D V Dが再生開始されたとき当該D V Dから内容テーブル情報を検出する内容テーブル情報検出手段と、前記検出された内容テーブル情報により動作モードがD V D再生モードであることを認識するD V D再生モード認識手段と、前記D V D再生モードであることが認識され、かつ前記選択部により、テレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは前記外部機器からの映像音声信号のいずれかが選択されているとき、当該D V Dに記録された本編の映像音声情報が再生されるまでの所定期間は当該選択部による選択通りに当該D V Dの再生情報は表示せずに前記テレビジョン受信部からの映像信号による画像または前記外部機器からの映像信号による画像を前記表示装置に表示させる表示モード切換手段と、当該D V Dが再生されていき当該D V Dの再生情報が初めてメニュー画面情報になったことを検出するメニュー画面情報検出手段と、前記検出されたメニュー画面情報を受け取ったとき前記表示装置の表示画像をテレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは外部機器からの映像音声信号からD V Dの画像に切り換えるためのD V D画像選択信号を前記選択部に入力するD V D画像切換手段とを有したことの特徴とする請求項2に記載の映像音声再生装置。

【請求項5】 本編の映像音声情報が再生されるまでの所定期間は、本編の映像音声情報を再生する前に、前記表示装置にメニュー画面を表示させる必要がある場合、D V Dが再生開始してから該メニュー画面が表示されるまでの期間を示すことを特徴とする請求項2～4に記載の映像音声再生装置。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の一実施形態に係る映像音声再生装置

の構成を示すブロック図である。

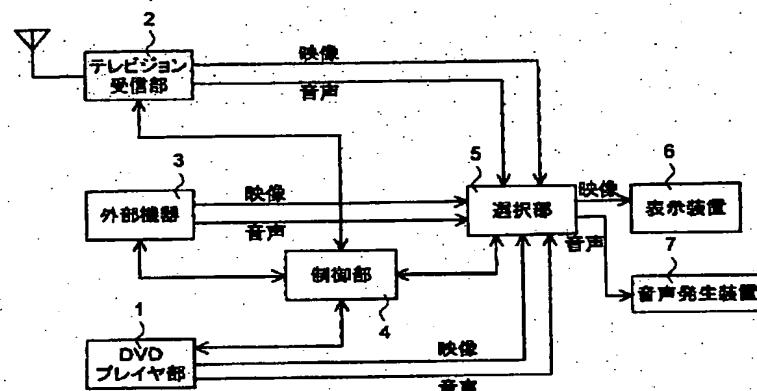
【図2】 本考案の一実施形態に係る映像音声再生装置において特徴とする表示画面切換処理を説明するためのフローチャートである。

【符号の説明】

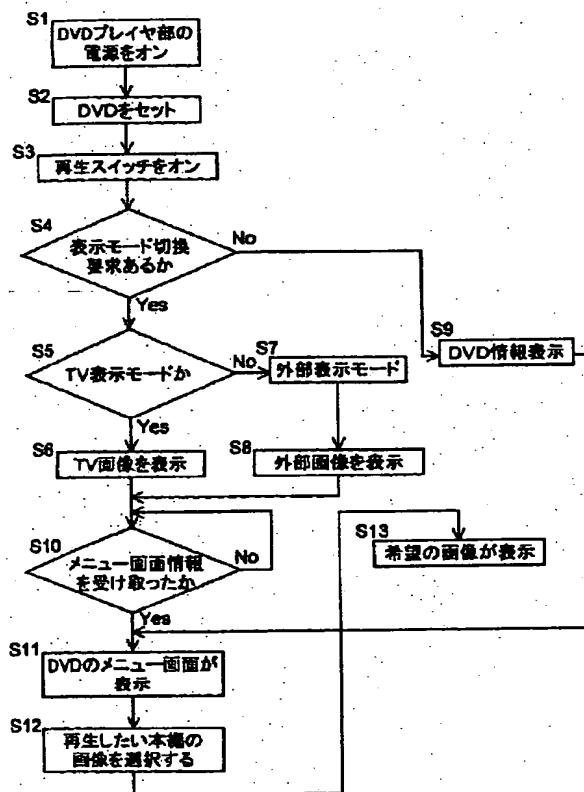
1 DVDプレイヤ部

- * 2 テレビジョン受信部
- 3 外部機器
- 4 制御部
- 5 選択部
- 6 表示装置
- 7 音声発生装置

【図1】



【図2】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【考案の属する技術分野】**

本考案は、DVD (digital versatile disc) に記録された映像音声情報を再生して映像音声信号を出力するDVDプレイヤと、テレビジョン放送を受信して映像音声信号を出力するテレビジョン受信機とが一体化した構成を有する映像音声再生装置に関し、特にDVDプレイヤー一体型テレビジョン受像機に関する。

【0002】**【従来の技術】**

近年のデジタル映像技術の発達に伴い、映像音声情報を大量に記録することができるDVDを再生するDVDプレイヤが普及している。このようなDVDプレイヤは、単体で販売されているものと、テレビジョン受信機と一体化して販売されているものとが知られている。

【0003】

DVDプレイヤとテレビジョン受信機が一体化された映像音声再生装置は、DVDに記録された映像音声情報を再生して映像音声信号を出力するDVDプレイヤ部と、テレビジョン放送を受信して映像音声信号を出力するテレビジョン受信部とを備えていると共に、映像音声信号を出力する外部機器（他のDVDプレイヤやビデオカセットプレイヤ等）が接続可能な構成を有するものが多い。

【0004】

また、このような映像音声再生装置は、DVDプレイヤ部からの映像音声信号とテレビジョン受信部からの映像音声信号と外部機器からの映像音声信号とのうちの何れかを選択する選択部と、前記選択された映像音声信号のうち映像信号を入力して画像を表示する表示装置と、前記選択された映像音声信号のうち音声信号を入力して音声を発生するスピーカやヘッドホーンなどの音声発生装置とを備えている。

【0005】

ここで、この映像音声発生装置において、DVDを再生する場合について説明する。先ず、DVDプレイヤ部の電源をオンし、DVDをトレイにセットし、再

生スイッチをオンして当該D V Dの再生を開始する。当該D V Dの再生が開始すると、本編の映像音声情報が再生される前に、例えば、複製禁止情報、オープニング画面、メニュー画面などが、順次、当該D V Dから再生され、表示装置に表示され、そのメニュー画面において再生したい映像音声情報を選択することにより、この選択された映像音声情報による画像が表示装置に表示されると共に、音声が音声発生装置から発生することになる。

【0006】

【考案が解決しようとする課題】

しかしながら、上述したように、D V Dには、本編の映像音声情報以外に、複製禁止情報、オープニング画面情報、メニュー画面情報などが記録されているので、本編の映像音声情報が再生されるまでのメニュー画面が表示されるまでに例えば20～30秒要し、その間、ユーザは表示装置にメニュー画面が表示されるまで画面をじっと見て待たなければならず、ユーザにとっては退屈で面白くなかった。

【0007】

ところで、例えば、特開平8-106770号公報に示される光ディスク映像再生装置では、他の映像信号源装置を内蔵し、光ディスク映像再生装置による光ディスクからの再生開始位置を予め設定し、切換信号発生手段からの切換信号の発生毎に前記他の映像信号源装置と前記光ディスク映像装置とを交互に動作状態にして動作状態にされた装置からの映像信号を送出させ、動作状態にされた前記光ディスク映像再生装置は最初の動作状態においては前記予め設定された再生開始位置から再生を開始させ、かつ引き続く動作状態においては直前の動作状態終了時における再生位置から再生させるようにしているが、D V Dの再生時に本編の映像音声情報が読み出されるまでの間は他の画像に切り換えて表示するものではないので、本件とは目的が異なる。

【0008】

また、特開平10-283718号公報に示される情報再生装置では、記録媒体への再生の要求から再生開始までの待ち時間を、時間で表示したり、イラスト表示、あるいは時間表示と共にイラスト表示したりするが、D V Dの再生時に本

編の映像音声情報が読み出されるまでの間は、他の画像に切り換えて表示するものではないので、本件とは目的が異なる。

【0009】

また、特開2000-099046号公報に示されるカラオケ装置では、カラオケ曲の記録媒体が一方の媒体再生手段にセットされるまでの間、他方の媒体再生手段に対してセットされている記録媒体の映像情報を代替映像として再生するようになっているが、DVDの再生時に本編の映像音声情報が読み出されるまでの間は、他の画像に切り換えて表示するものではないので、本件とは目的が異なる。

【0010】

また、特開2001-155066号公報に示される広告表示装置および広告表示方法並びにコンピュータ読み取り可能な記録媒体では、広告データ格納手段により格納された広告データを用いて、広告用の画像および／または音声をモニタ出力させるようになっているが、DVDの再生時に本編の映像音声情報が読み出されるまでの間は、他の画像に切り換えて表示するものではないので、本件とは目的が異なる。

【0011】

また、特開2002-050169号公報に示されるディスク装置では、ディスクの駆動や搬送の動作状況をLEDなどの表示灯により通知するためのユーザ告知部を有し、ディスクの挿入、回転および排出の動作中に前記表示灯を点滅させるようにしているが、DVDの再生時に本編の映像音声情報が読み出されるまでの間は、他の画像に切り換えて表示するものではないので、本件とは目的が異なる。

【0012】

本考案は上記のような課題を解決するためになされたもので、DVDの再生時に本編の映像音声情報が読み出されるまでの間は、他の画像に切り換えて表示することができる映像音声再生装置を提供することを目的とする。

【0013】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために請求項1の考案は、DVDに記録された映像音声情報を取り出して映像音声信号を出力するDVDプレイヤ部と、テレビジョン放送を受信して映像音声信号を出力するテレビジョン受信部とを備えていると共に、映像音声信号を出力する外部機器が接続可能な構成を有するDVDプレイヤ一体型テレビジョン受像機であって、前記DVDプレイヤ部からの映像音声信号と前記テレビジョン受信部からの映像音声信号と前記外部機器からの映像音声信号とのうちの何れかを選択する選択部と、前記選択された映像音声信号のうち映像信号を入力して画像を表示する表示装置と、前記選択された映像音声信号のうち音声信号を入力して音声を発生する音声発生装置とを備え、更に、DVDが再生開始されたとき当該DVDから内容テーブル情報を検出する内容テーブル情報検出手段と、前記検出された内容テーブル情報により動作モードがDVD再生モードであることを認識するDVD再生モード認識手段と、前記DVD再生モードであることが認識され、かつ前記選択部により、テレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは前記外部機器からの映像音声信号のいずれかが選択されているとき、当該DVDに記録された本編の映像音声情報が再生される前に表示されるメニュー画面までの期間は当該選択部による選択通りに当該DVDの再生情報は表示せずに前記テレビジョン受信部からの映像信号による画像または前記外部機器からの映像信号による画像を前記表示装置に表示させる表示モード切換手段と、当該DVDが再生されていき当該DVDの再生情報が初めてメニュー画面情報になったことを検出するメニュー画面情報検出手段と、前記検出されたメニュー画面情報を受け取ったとき前記表示装置の表示画像をテレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは外部機器からの映像音声信号からDVDの画像に切り換えるためのDVD画像選択信号を前記選択部に入力するDVD画像切換手段とを有した制御部を備えたことを特徴とするDVDプレイヤ一体型テレビジョン受像機を提供する。

【0014】

この構成においては、DVDが再生開始されたとき、当該DVDから内容テーブル情報が検出され、この内容テーブル情報によりDVD再生モードであることが認識される。前記DVD再生モードであることが認識され、かつ前記選択部に

より、テレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは前記外部機器からの映像音声信号のいずれかが選択されているとき、テレビジョン受信部からの映像信号による画像または前記外部機器からの映像信号による画像が表示装置に表示される。当該DVDが再生されていき、当該DVDの再生情報が初めてメニュー画面情報になったことが検出されると、前記表示装置の表示画像が、テレビジョン受信部からの映像信号による画像または前記外部機器からの映像信号による画像から当該DVDの画像に切り換えられ、メニュー画面が表示される。このメニュー画面の表示により、ユーザが希望する本編の映像音声情報を選択でき、その映像音声情報を再生して前記表示装置に表示させることが可能になる。

【0015】

このように、DVDの再生時に、本編の映像音声情報が読み出されるまでのメニュー画面が表示されるまでの間は、他の画像に切り換えて表示することができる、ユーザにとっては、その間の時間を有効に活用でき、楽しむことができる。

【0016】

請求項2の考案は、DVDに記録された映像音声情報を再生して映像音声信号を出力するDVDプレイヤ部と、テレビジョン放送を受信して映像音声信号を出力するテレビジョン受信部とを備えていると共に、映像音声信号を出力する外部機器が接続可能な構成を有する映像音声再生装置であって、前記DVDプレイヤ部からの映像音声信号と前記テレビジョン受信部からの映像音声信号と前記外部機器からの映像音声信号とのうちの何れかを選択する選択部と、前記選択された映像音声信号のうち映像信号を入力して画像を表示する表示装置と、前記選択された映像音声信号のうち音声信号を入力して音声を発生する音声発生装置とを備え、更に、DVDを再生する場合、当該DVDに記録された本編の映像音声情報が再生されるまでの所定期間は当該DVDの再生情報は表示せずに前記テレビジョン受信部からの映像信号による画像または前記外部機器からの映像信号による画像を前記表示装置に表示させるように前記選択部を制御する制御部を備えたことを特徴とする映像音声再生装置を提供する。

【0017】

この構成においては、DVDを再生する場合、当該DVDに記録された本編の映像音声情報が再生されるまでの所定期間は、テレビジョン受信部からの映像信号による画像、または外部機器からの映像信号による画像が表示装置に表示される。

【0018】

このように、DVDの再生時に、本編の映像音声情報が読み出されるまでの所定期間は、他の画像に切り換えて表示することができるので、ユーザにとってはその期間の時間を有効に活用でき、楽しむことができる。

【0019】

請求項3の考案では、請求項2の映像音声再生装置における制御部は、DVDを再生する場合、当該DVDに記録された本編の映像音声情報が再生されるまでの所定期間は当該DVDの再生情報は表示せずに前記テレビジョン受信部からの映像信号による画像または前記外部機器からの映像信号による画像を前記表示装置に表示させる表示モード切換手段と、当該DVDが再生されていき当該DVDの再生情報が初めてメニュー画面情報になったことを検出するメニュー画面情報検出手段と、前記検出されたメニュー画面情報を受け取ったとき前記表示装置の表示画像をテレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは外部機器からの映像音声信号からDVDの画像に切り換えるためのDVD画像選択信号を前記選択部に入力するDVD画像切換手段とを有する。

【0020】

この構成の制御部を備えたことにより、DVDを再生する場合、当該DVDに記録された本編の映像音声情報が再生されるまでの所定期間は、テレビジョン受信部からの映像信号による画像、または外部機器からの映像信号による画像が表示装置に表示させることが可能になる。

【0021】

請求項4の考案では、請求項2の映像音声再生装置における制御部は、DVDが再生開始されたとき当該DVDから内容テーブル情報を検出する内容テーブル情報検出手段と、前記検出された内容テーブル情報により動作モードがDVD再生モードであることを認識するDVD再生モード認識手段と、前記DVD再生モ

ードであることが認識され、かつ前記選択部により、テレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは前記外部機器からの映像音声信号のいずれかが選択されているとき、当該D V Dに記録された本編の映像音声情報が再生されるまでの所定期間は当該選択部による選択通りに当該D V Dの再生情報は表示せずに前記テレビジョン受信部からの映像信号による画像または前記外部機器からの映像信号による画像を前記表示装置に表示させる表示モード切換手段と、当該D V Dが再生されていき当該D V Dの再生情報が初めてメニュー画面情報になったことを検出するメニュー画面情報検出手段と、前記検出されたメニュー画面情報を受け取ったとき前記表示装置の表示画像をテレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは外部機器からの映像音声信号からD V Dの画像に切り換えるためのD V D画像選択信号を前記選択部に入力するD V D画像切換手段とを有する。

【0022】

この構成の制御部を備えたことにより、D V Dが再生開始されたとき、当該D V Dから内容テーブル情報が検出され、この内容テーブル情報によりD V D再生モードであることが認識でき、かつ前記選択部により、テレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは前記外部機器からの映像音声信号のいずれかが選択されているとき、表示モードが切り換えられ、テレビジョン受信部からの映像信号による画像または前記外部機器からの映像信号による画像を表示装置に表示できる。当該D V Dが再生されていき、当該D V Dの再生情報が初めてメニュー画面情報になったことが検出されると、前記表示装置の表示画像がテレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは外部機器からの映像音声信号からD V Dの画像に切り換えられ、メニュー画面を表示させることができる。このメニュー画面の表示により、ユーザが希望する本編の映像音声情報を選択でき、その映像音声情報を再生して前記表示装置に表示させることが可能になる。

【0023】

請求項5の考案では、請求項2～4の映像音声再生装置における本編の映像音声情報が再生されるまでの所定期間は、本編の映像音声情報を再生する前に、前記表示装置にメニュー画面を表示させる必要がある場合、D V Dが再生開始してから該メニュー画面が表示されるまでの期間を示す。

【0024】

したがって、前記本編の映像音声情報が再生されるまでの所定期間はメニュー画面が表示されるまでの期間である場合、DVDが再生されていき、当該DVDのメニュー画面情報が再生されたとき、表示装置の表示画面がテレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは外部機器からの映像音声信号からDVDの再生画面に戻り、メニュー画面が前記表示装置に表示されることになる。

【0025】**【考案の実施の形態】**

以下、添付図面を参照しつつ、本考案の実施の形態について説明する。図1は本考案の一実施形態に係る映像音声再生装置の構成を示すブロック図である。

【0026】

図1において、この映像音声再生装置は、DVDに記録された映像音声情報を再生して映像音声信号を出力するDVDプレイヤ部1と、テレビジョン放送を受信して映像音声信号を出力するテレビジョン受信部2とを備えていると共に、映像音声信号を出力する他のDVDプレイヤやビデオカセットプレイヤなどの外部機器3が接続可能な構成を有する。

【0027】

また、この映像音声再生装置は、DVDプレイヤ部1からの映像音声信号とテレビジョン受信部2からの映像音声信号と外部機器3からの映像音声信号とのうちの何れかを選択する選択部5と、前記選択された映像音声信号のうち映像信号を入力して画像を表示する表示装置6と、前記選択された映像音声信号のうち音声信号を入力して音声を発生するスピーカやヘッドホーンなどの音声発生装置7とを備えている。

【0028】

更に、この映像音声再生装置は、DVDが再生開始されたとき当該DVDから内容テーブル情報であるTOC (table of contents) 情報を検出する内容テーブル情報検出手段と、前記検出されたとTOC情報により動作モードがDVD再生モードであることを認識するDVD再生モード認識手段と、前記DVD再生モードであることが認識され、かつ選択部5により、テレビジョン受信部2からの

映像音声信号あるいは外部機器3からの映像音声信号のいずれかが選択されているとき、当該D V Dに記録された本編の映像音声情報が再生される前に表示されるメニュー画面までの期間は当該D V Dの再生情報は表示せずにテレビジョン受信部2からの映像信号による画像または外部機器3からの映像信号による画像を表示装置6に表示させる表示モード切換手段と、当該D V Dが再生されていき当該D V Dの再生情報が初めてメニュー画面情報になったことを検出するメニュー画面情報検出手段と、前記検出されたメニュー画面情報を受け取ったとき前記表示装置の表示画像をテレビジョン受信部2からの映像音声信号あるいは外部機器3からの映像音声信号からD V Dの画像に切り換えるためのD V D画像選択信号を選択部5に入力するD V D画像切換手段とを有した制御部4を備えている。

【0029】

図2は本考案の一実施形態に係る映像音声再生装置において特徴とする表示画面切換処理を説明するためのフローチャートである。以下、このフローチャートに従って図1に示す映像音声再生装置の表示画面切換処理について説明する。

【0030】

先ず、D V Dプレイヤ部1の電源をオンし（ステップS1）、再生したいD V Dをトレイにセットし（ステップS2）、再生スイッチをオンする（ステップS3）。当該D V Dが再生開始されたとき、当該D V DからTOC情報が制御部4の内容テーブル情報検出手段により検出され、そのTOC情報により動作モードがD V D再生モードであることがD V D再生モード認識手段により認識される。

【0031】

次に表示モード切換要求があるか否かが判断される（ステップS4）。即ち、当該D V Dに記録された本編の映像音声情報が再生される前に表示装置6に表示されるメニュー画面までの期間は、当該D V Dの再生情報（複製禁止情報、オープニング画面など）は表示せずに、テレビジョン受信部2からの映像信号による画像、または他のD V Dプレイヤやビデオカセットプレイヤなどの外部機器3からの映像信号による画像を、表示装置6に表示させるための表示モードの設定がユーザにより予め設定されており、この設定された表示モードに切り換えるための表示モード切換要求があるか否かが判断される。なお、D V D再生モードであ

ることが認識され、かつ選択部5により、テレビジョン受信部2からの映像音声信号あるいは外部機器3からの映像音声信号のいずれかが選択されているときは表示モード切換要求があるものと判断するようにしてもよい。

【0032】

その表示モード切換要求があり、その表示モードがテレビジョン受信部2からのTV画像を表示装置6に表示させるTV表示モードであった場合は（ステップS5）、そのTV画像を表示装置6に表示させる（ステップS6）。また、その表示モードが外部機器3からの外部画像を表示装置6に表示させる外部表示モードであった場合は（ステップS7）、外部画像を表示装置6に表示させる（ステップS8）。

【0033】

このように当該DVDの再生が開始されると、当該DVDの再生情報（複製禁止情報、オープニング画面など）は表示せずに、テレビジョン受信部2からのTV画像、または他のDVDプレイヤやビデオカセットプレイヤなどの外部機器3からの外部画像が、表示装置6に表示される。なお、DVDプレイヤ1からの画像に代わって表示装置6に表示するテレビジョン受信部2からのTV画像、また外部装置3からの外部画像が送られて来ていない場合は、内部メモリに予め記憶しておいた画像を表示させることもできるが、本実施形態では表示装置6の表示画面切換時にはテレビジョン受信部2または外部装置3からは映像信号が出力されていることを前提とする。

【0034】

そして、当該DVDの再生情報が初めてメニュー画面情報になったことがメニュー画面情報検出手段により検出されると（ステップS10）、DVD画像切換手段によりDVD画像選択信号が選択部5に与えられ、これにより選択部5においてDVDプレイヤ1からの再生信号が選択され、表示装置6にはメニュー画面が表示される（ステップS11）。

【0035】

ここで、ユーザはメニュー画面を見て再生したい本編の画像を選択すると（ステップS12）、その選択された本編の画像が表示装置に表示されることになる

(ステップS13)。

【0036】

なお、表示モード切換要求がない場合は、再生開始から当該D V Dの再生情報(複製禁止情報、オープニング画面など)はそのまま表示装置6に表示されていき(ステップS9)、当該D V Dのメニュー画面が表示されると、ユーザはメニュー画面を見て再生したい本編の画像を選択する(ステップS12)。これにより、その選択された本編の画像が表示装置6に表示されることになる(ステップS13)。

【0037】

このように本実施形態によれば、D V Dの再生時に、本編の映像音声情報が読み出されるまでのメニュー画面が表示されるまでの間は、他の画像に切り換えて表示することができるので、ユーザにとっては、その間の時間を有効に活用できて、楽しむことができる。

【0038】

【考案の効果】

以上のように請求項1の考案によれば、D V Dが再生開始されたとき当該D V Dから内容テーブル情報を検出する内容テーブル情報検出手段と、前記検出された内容テーブル情報により動作モードがD V D再生モードであることを認識するD V D再生モード認識手段と、前記D V D再生モードであることが認識され、かつ前記選択部により、テレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは前記外部機器からの映像音声信号のいずれかが選択されているとき、当該D V Dに記録された本編の映像音声情報が再生される前に表示されるメニュー画面までの期間は当該選択部による選択通りに当該D V Dの再生情報は表示せずに前記テレビジョン受信部からの映像信号による画像または前記外部機器からの映像信号による画像を前記表示装置に表示させる表示モード切換手段と、当該D V Dが再生されていき当該D V Dの再生情報が初めてメニュー画面情報になったことを検出するメニュー画面情報検出手段と、前記検出されたメニュー画面情報を受け取ったとき前記表示装置の表示画像をテレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは外部機器からの映像音声信号からD V Dの画像に切り換えるためのD V D画像選択信

号を前記選択部に入力するDVD画像切換手段とを有した制御部を備えている。

【0039】

したがって、請求項1の考案では前記制御部を備えることにより、DVDが再生開始されたとき、当該DVDから内容テーブル情報が検出され、この内容テーブル情報によりDVD再生モードであることが認識される。前記DVD再生モードであることが認識され、かつ前記選択部により、テレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは前記外部機器からの映像音声信号のいずれかが選択されているとき、テレビジョン受信部からの映像信号による画像または外部機器からの映像信号による画像が表示装置に表示される。当該DVDが再生されていき、当該DVDの再生情報が初めてメニュー画面情報になったことが検出されると、前記表示装置の表示画像が、テレビジョン受信部からの映像信号による画像または前記外部機器からの映像信号による画像から当該DVDの画像に切り換えられ、メニュー画面が表示される。このメニュー画面の表示により、ユーザが希望する本編の映像音声情報を選択でき、その映像音声情報を再生して前記表示装置に表示させることが可能になる。

【0040】

このように、DVDの再生時に、本編の映像音声情報が読み出されるまでのメニュー画面が表示されるまでの間は、他の画像に切り換えて表示することができるので、ユーザにとっては、その間の時間を有効に活用でき、楽しむことができる。

【0041】

請求項2の考案によれば、DVDを再生する場合、当該DVDに記録された本編の映像音声情報が再生されるまでの所定期間は当該DVDの再生情報は表示せずに前記テレビジョン受信部からの映像信号による画像または前記外部機器からの映像信号による画像を前記表示装置に表示させるように前記選択部を制御する制御部を備えている。

【0042】

したがって、請求項2の考案では前記制御部を備えていることにより、DVDを再生する場合、当該DVDに記録された本編の映像音声情報が再生されるまで

の所定期間は、テレビジョン受信部からの映像信号による画像、または外部機器からの映像信号による画像が表示装置に表示される。

【0043】

このように、DVDの再生時に、本編の映像音声情報が読み出されるまでの所定期間は、他の画像に切り換えて表示することができるので、ユーザにとってはその期間の時間を有効に活用でき、楽しむことができる。

【0044】

請求項3の考案によれば、請求項2の映像音声再生装置における制御部は、DVDを再生する場合、当該DVDに記録された本編の映像音声情報が再生されるまでの所定期間は当該DVDの再生情報は表示せずに前記テレビジョン受信部からの映像信号による画像または前記外部機器からの映像信号による画像を前記表示装置に表示させる表示モード切換手段と、当該DVDが再生されていき当該DVDの再生情報が初めてメニュー画面情報になったことを検出するメニュー画面情報検出手段と、前記検出されたメニュー画面情報を受け取ったとき前記表示装置の表示画像をテレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは外部機器からの映像音声信号からDVDの画像に切り換えるためのDVD画像選択信号を前記選択部に入力するDVD画像切換手段とを有する。

【0045】

この構成の制御部を備えたことにより、DVDを再生する場合、当該DVDに記録された本編の映像音声情報が再生されるまでの所定期間は、テレビジョン受信部からの映像信号による画像、または外部機器からの映像信号による画像が表示装置に表示させることが可能になる。

【0046】

請求項4の考案によれば、請求項2の映像音声再生装置における制御部は、DVDが再生開始されたとき当該DVDから内容テーブル情報を検出する内容テーブル情報検出手段と、前記検出された内容テーブル情報により動作モードがDVD再生モードであることを認識するDVD再生モード認識手段と、前記DVD再生モードであることが認識され、かつ前記選択部により、テレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは前記外部機器からの映像音声信号のいずれかが選択さ

れているとき、当該D V Dに記録された本編の映像音声情報が再生されるまでの所定期間は当該選択部による選択通りに当該D V Dの再生情報は表示せずに前記テレビジョン受信部からの映像信号による画像または前記外部機器からの映像信号による画像を前記表示装置に表示させる表示モード切換手段と、当該D V Dが再生されていき当該D V Dの再生情報が初めてメニュー画面情報になったことを検出するメニュー画面情報検出手段と、前記検出されたメニュー画面情報を受け取ったとき前記表示装置の表示画像をテレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは外部機器からの映像音声信号からD V Dの画像に切り換えるためのD V D画像選択信号を前記選択部に入力するD V D画像切換手段とを有する。

【0047】

この構成の制御部を備えたことにより、D V Dが再生開始されたとき、当該D V Dから内容テーブル情報が検出され、この内容テーブル情報によりD V D再生モードであることが認識でき、かつ前記選択部により、テレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは前記外部機器からの映像音声信号のいずれかが選択されているとき、テレビジョン受信部からの映像信号による画像または前記外部機器からの映像信号による画像を表示装置に表示できる。当該D V Dが再生されていき、当該D V Dの再生情報が初めてメニュー画面情報になったことが検出されると、前記表示装置の表示画像がテレビジョン受信部からの映像音声信号あるいは外部機器からの映像音声信号からD V Dの画像に切り換えられ、メニュー画面を表示させることができる。このメニュー画面の表示により、ユーザが希望する本編の映像音声情報を選択でき、その映像音声情報を再生して前記表示装置に表示させることが可能になる。

【0048】

請求項5の考案によれば、請求項2～4の映像音声再生装置における本編の映像音声情報が再生されるまでの所定期間は、本編の映像音声情報を再生する前に表示装置にメニュー画面を表示させる必要がある場合、D V Dが再生開始してから該メニュー画面が表示されるまでの期間を示す。

【0049】

したがって、前記本編の映像音声情報が再生されるまでの所定期間はメニュー

画面が表示されるまでの期間である場合、D V Dが再生されていき、当該D V Dのメニュー画面情報が再生されたとき、表示装置の表示画面が当該D V Dの再生画面に戻り、メニュー画面を前記表示装置に表示させることができ、そのメニュー画面から再生を希望する本編の画像を選択できる。